大牟田 荒尾 与論会だより

発行所
大牟田・荒尾地区与論会
発行人・町　謙二
TEL　0944-31-3144

第120号

9月17日　「秋季大祭」与洲奥都城内にて

恭賀新年

新年あけましておめでとうございます。

昨年11月には、天皇皇后両陛下が初めて与論島をご訪問され、百合が浜や十五夜踊りをご覧になられました。大変喜ばしい出来事でした。

さて、今年も左記のとおり新春初詣のご案内をいたします。たくさんの方々のご参拝をお待ちしております。

一、とき　1月3日（水）　午前10時～12時

一、ところ　与洲奥都城前広場

注意事項

お神酒を用意しております

『飲酒運転』はくれぐれもしないようにお願い致します

新年のご挨拶

あけましておめでとうございます

会員の皆様方におかれましては、ご家族お揃いで輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は九州北部が大豪雨災害に襲われ大変な年でありました。

私たち与論会におきましては、5月に与論中学校2年生の生徒たちが3年連続、修学旅行で先祖や親戚らが眠る与洲奥都城にお参りし、交流会後、世界文化遺産となった三池港や「先人たちが暮らしていた新港町社宅跡地」万田坑などを役員で案内いたしました。

8月には、大牟田与論教育文化交流として訪問時、与論町長・教育長の連名で、『11年の長きにわたり教育文化交流を目的とし訪問団を結成され本町に来島されました　その間両県の懸け橋となり交流促進に努められ相互理解を深められた業績は大いなるものがあります　また本町社会教育青少年研修事業「ヨロンパナウル少年の船」の趣旨をご理解されその受け入れや中学生の修学旅行の対応など積極的にご尽力いただきました　よってここに深甚なる感謝の意を表します』と、感謝状をいただきました。これも皆様のご支援とご理解の賜物と感謝いたします。与論町広報誌「よろんちょう議会だより」第125号（11月2日発行）表紙に、大牟田与論教育文化交流訪問団の写真が掲載されました、嬉しいことです。

また、11月17日に待望の天皇・皇后両陛下がふるさと与論島を訪問され、パナウル与論もクローズ・アップされる事でしょう。

同月26日には、鹿児島与論会創立90周年記念式典・祝賀会に副会長の朝岡光男氏と2人で出席し、祝宴の最後に万歳三唱の発声をご指名いただき、記念式典並びに祝賀会が盛会にできたことを祝し、音頭を取り大役を果す事が出来ました。

さて、今年、春には全国与論会幹事会、9月は関西与論会80周年記念式典、秋には待ちに待った敬老会と忙しい年になりそうです。役員一同一丸となりお世話させていただきますので、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げ新年のご挨拶といたします。

平成30年　元旦

鹿児島与論会で挨拶する町会長

大牟田・荒尾地区与論会
会長　町　謙二

与論会の動き

自　平成29年9月
至　平成29年12月

平成29年
9月10日　奥都城清掃　6・15・16地区担当
16日　奥都城秋季大祭準備
17日　秋季大祭　250人集う
10月8日　奥都城清掃　4・10・11地区担当
11月12日　奥都城清掃　13・14地区担当
26日　鹿児島与論会創立90周年記念行事　鹿児島ジェイドガーデンパレス　町謙二会長・朝岡光男副会長出席
12月8日　役員忘年会　清風荘

▼次の方がお亡くなりになりました
謹んで哀悼の意を表し心からご冥福をお祈り申し上げます

月日	氏名	年齢	喪主	住所
9月9日	堀　マツ	100歳	堀　宣也	大牟田市米生町2丁目156－2
9月16日	竹内　ナエ	94歳	竹内　一徳	大牟田市歴木1127－1
10月27日	堀　トシ子	84歳	堀　先盛	玉名郡長洲町大字宮野2948－15
12月2日	田畑　由美子	68歳	田畑　正喜	大牟田市小浜町80－1
12月7日	竹内　幹一	84歳	竹内　澄子	大牟田市上官町1－4－4

奥都城清掃参加者

5月14日

6月11日

7月16日

8月6日

9月10日

10月8日

台風ニモ負ケズ大祭

与論会 先祖に感謝、慰霊

大牟田・荒尾

大牟田・荒尾地区与論会（町謙二会長）主催の与洲奥都城秋季大祭が17日、大牟田市昭和町の奥都城（納骨堂）で行われ、与論出身者やその子孫ら約250人が参拝、先祖を慰霊した。

春秋の大祭などは、いつも天候にかかわらず奥都城前広場で行われているが、今回は台風接近ということで屋内で開催された。

郷土遥拝の黙とうなどに続いて、町会長は「今回の大祭は台風での中止も考えたが、思い切って台風の真っただ中で開催できた。皆さんの協力のおかげ。台風にも負けない与論会といえる」と感謝の意を示した。

さらに町会長は「会員名簿をしっかり作り直し連絡を行い、来年10月に10年ぶりの敬老会を開催したい。対象は75歳以上なので、まだ達しない人は長生きして次の敬老会を楽しみにして」などと呼び掛けた。

野田国義参議院議員のメッセージ披露や大橋克己県議会議員らの来賓あいさつや経過報告もあった。

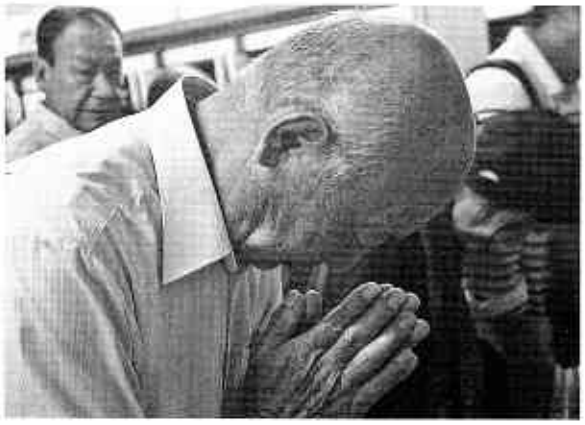
今回は映像ジャーナリストの熊谷博子さんが新映像撮影で東京から訪れ、三池炭鉱や地域の発展を荷役作業などを通じて支えた与論出身者の子孫たちの「今」を秋季大祭で取材した。

9月18日　有明新報

平成29年　秋季大祭

平成29年　秋季大祭

平成29年　秋季大祭



大牟田・与論教育文化交流訪問団 2017・8・18

大牟田・与論教育文化交流訪問団 2017・8・18

与論会だより117号にて紹介しました、大牟田・荒尾地区与論会副会長・森整昭氏の孫で大牟田高校柔道部（1年）森健心君の活躍が新聞にて紹介されましたので抜粋して掲載します。

森選手 世界大会準優勝V、団体銅

気持ち新たに大きな糧

大牟田市草木、大牟田高校柔道部（杉野健次郎監督）森健心選手（1年）は、チリ・サンディアゴで開催された15歳以上18歳未満の選手が競う世界カデ柔道選手権大会では、個人戦90キロ以下級で準優勝、団体戦では銅メダルに貢献した。

4月の全日本カデ柔道選手権大会で日本代表に選ばれた森選手は世界大会個人戦の1回戦、ジョージアの選手に反則勝ち。2回戦は台湾の選手に送り襟絞めで一本勝ち。3回戦はカデの90キロ以下級世界ランク1位のロシア選手と対戦。開始1分ほどで二つの指導を受けたが、担ぎ技を中心とした攻め方に変え、背負い投げで技ありを奪い優勢勝ちを収めた。準決勝のラトビアの選手には大外刈りで技ありを取り優勢勝ち。

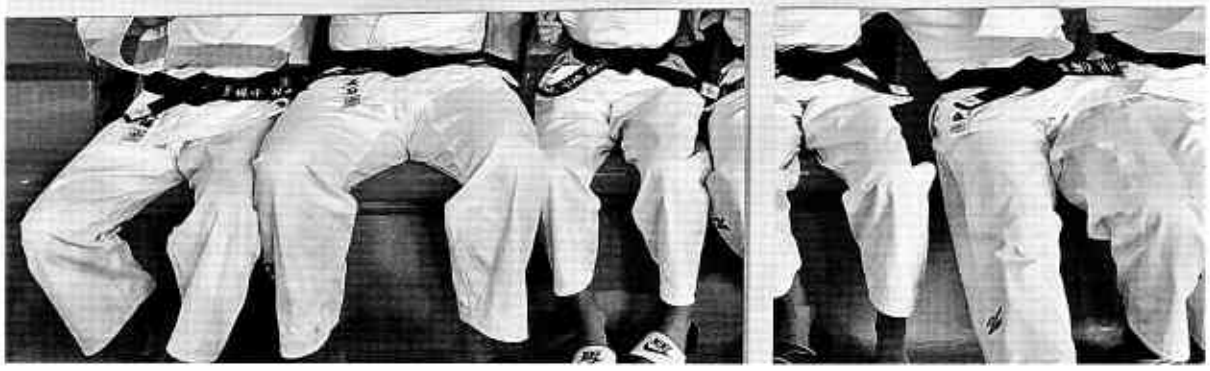
決勝戦はルーマニアの選手を足払いで崩すなど指導二つを与えたが、延長戦に。序盤小内刈りをかけるも相手に届かず、そのまま勢いが止まらずに背中を付き一本負けした。

森選手は「これまでになく悔しい。世界の強豪と対戦できる喜びはあったが、相当な覚悟と責任感を持たないと日本代表として戦えない」と振り返った。ただ「15歳で世界の舞台に立ち、試合ができたのは今後の大きな糧になった」と冷静に話した

9月18日　有明新報

森健心君（左端）　表彰式にて

団体銅表彰式



森健心君（右から２人目）団体メンバーと

新港町郷土寫眞帖

古い資料があるので確認をお願いしたいと、大牟田市船津町在住の仲野光浩さんより提示があり見せていただいた資料が下記の新港町郷土寫眞帖です、製作会社名があり、三川町の田島写真館に持ち込み、作成日時などが分からないか調べてもらったが、先代が作ったであろうが当時の資料はなく不明とのこと。背景から想像すると昭和初期頃つくられたのではなかろうか、とのことでした。

現品もかなりの劣化がみられるので、複製再生するのに見積を依頼しましたが左記の金額提示を受けました。

・A4「全20ページアルバム」仕上げ、
　10部作成108，000円、
　1部では54，000円。
・写真仕上げ、21，600円。
・データーCD、16，200円。

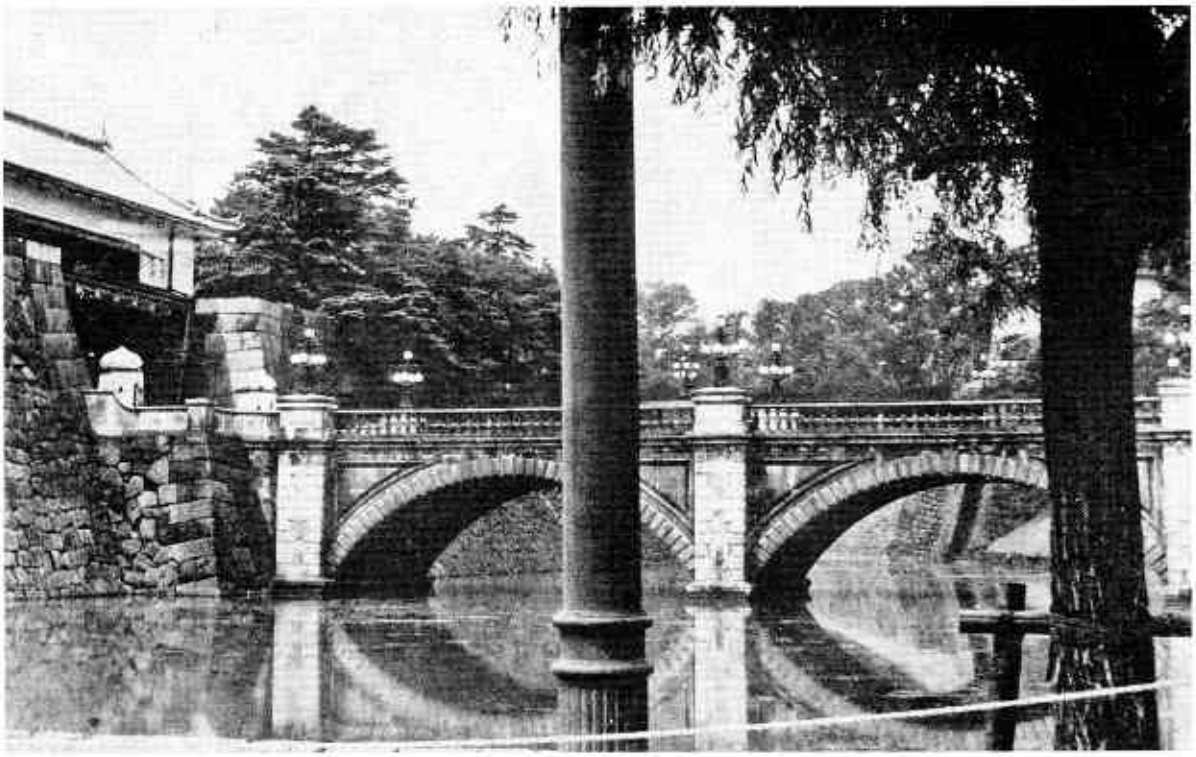
今回、与論会記録として残すため、デジタル作成を依頼、永久保存することにし、CD化して現在与洲会館に保管しております。そのCDより新港町郷土写真帖を2回に分けて、与論会だより紙面に掲載します。

なお、希望する方にはCDを焼増して差し上げますので祭典時申し込みをお願いします。送料込み500円です。

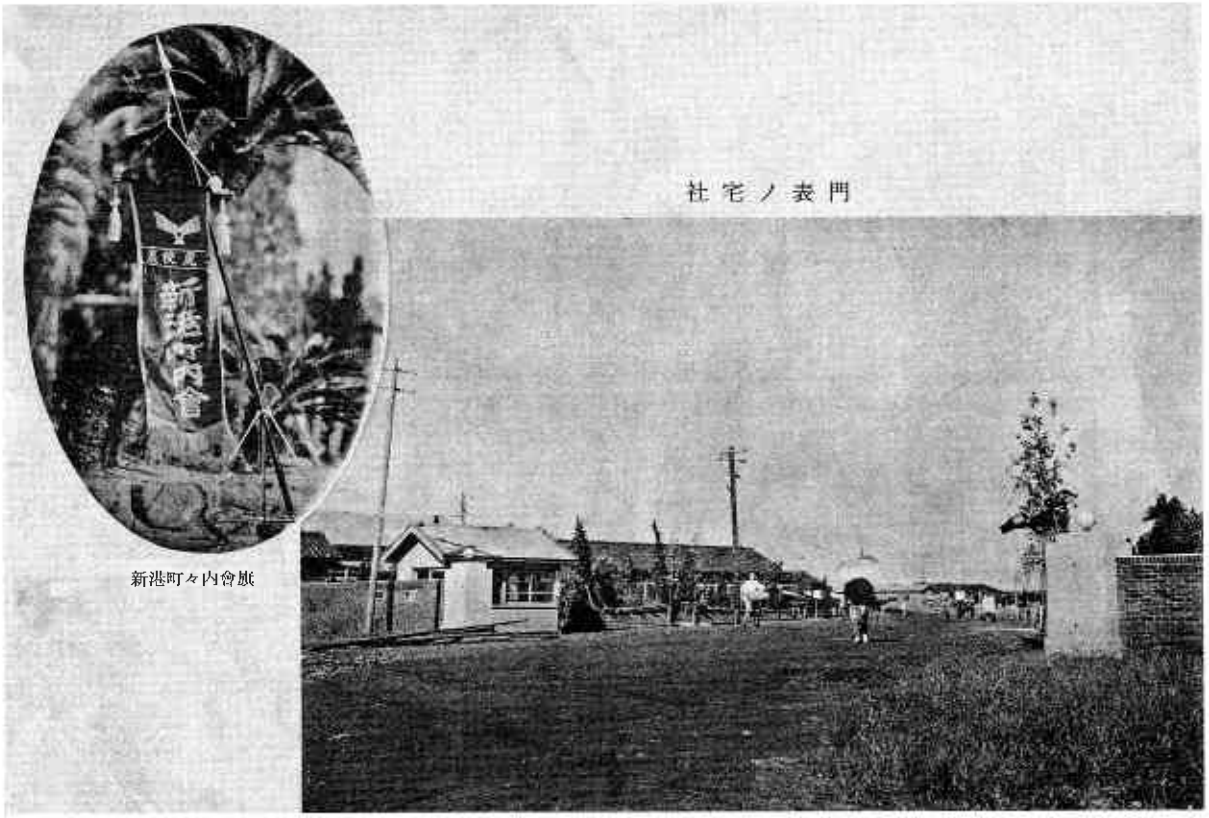
※問い合わせ　大牟田市入船町84　出村 進
携帯　090－1192－2998

表紙

新港町郷土寫眞帖〈1～2〉



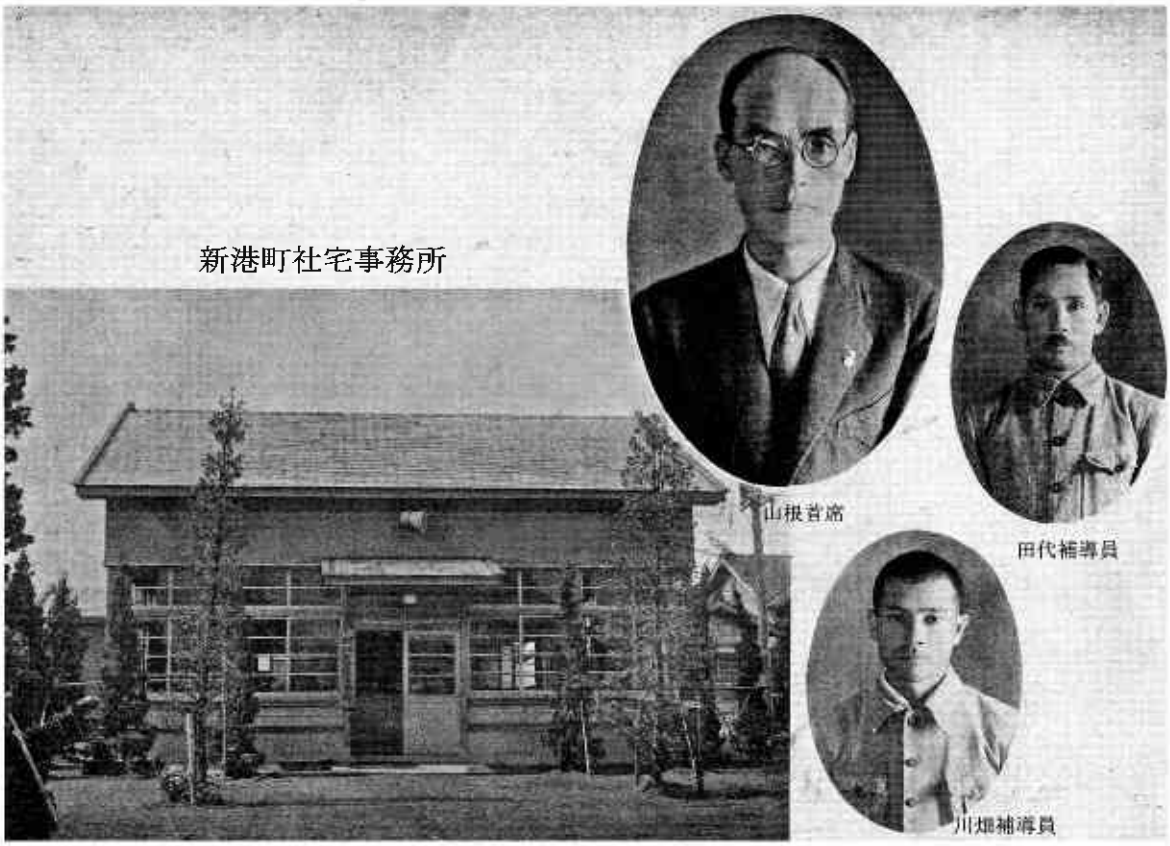
宮　城



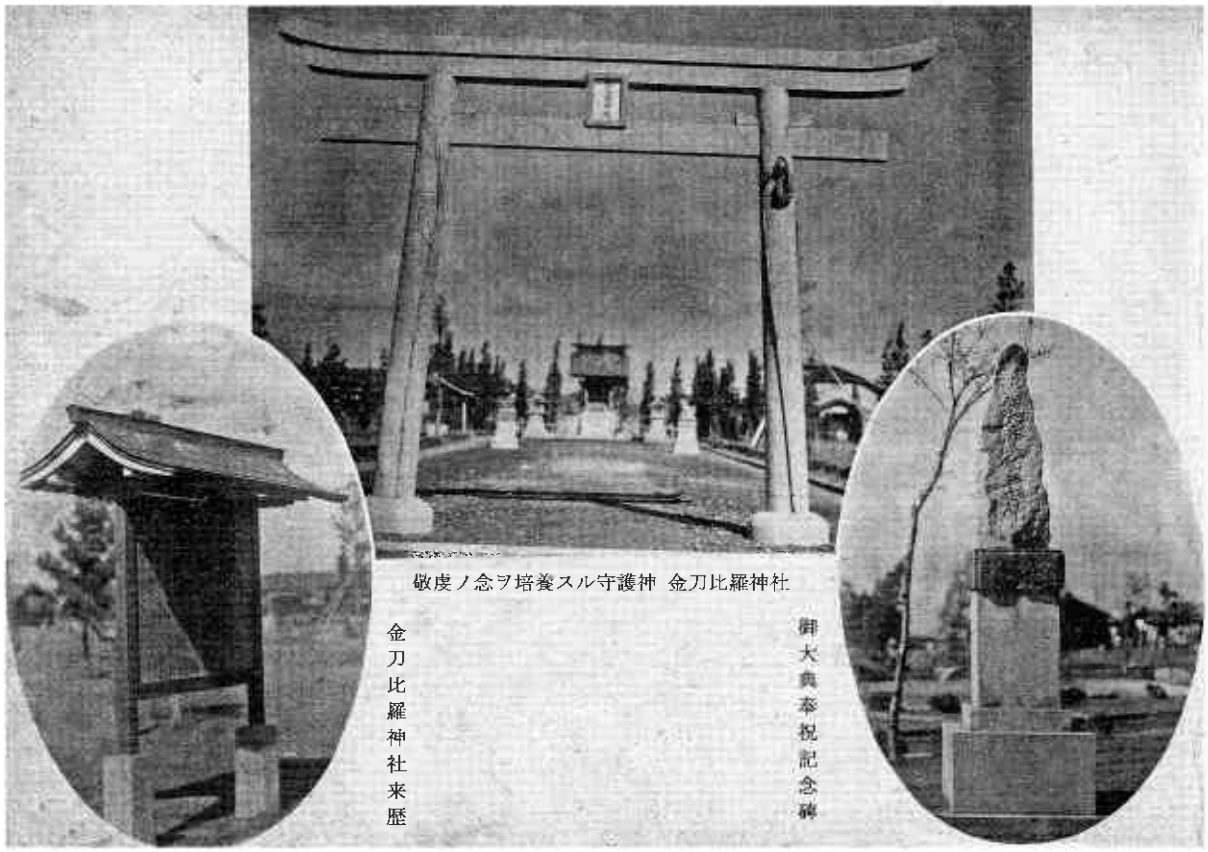
新港町々内會旗

社宅ノ表門

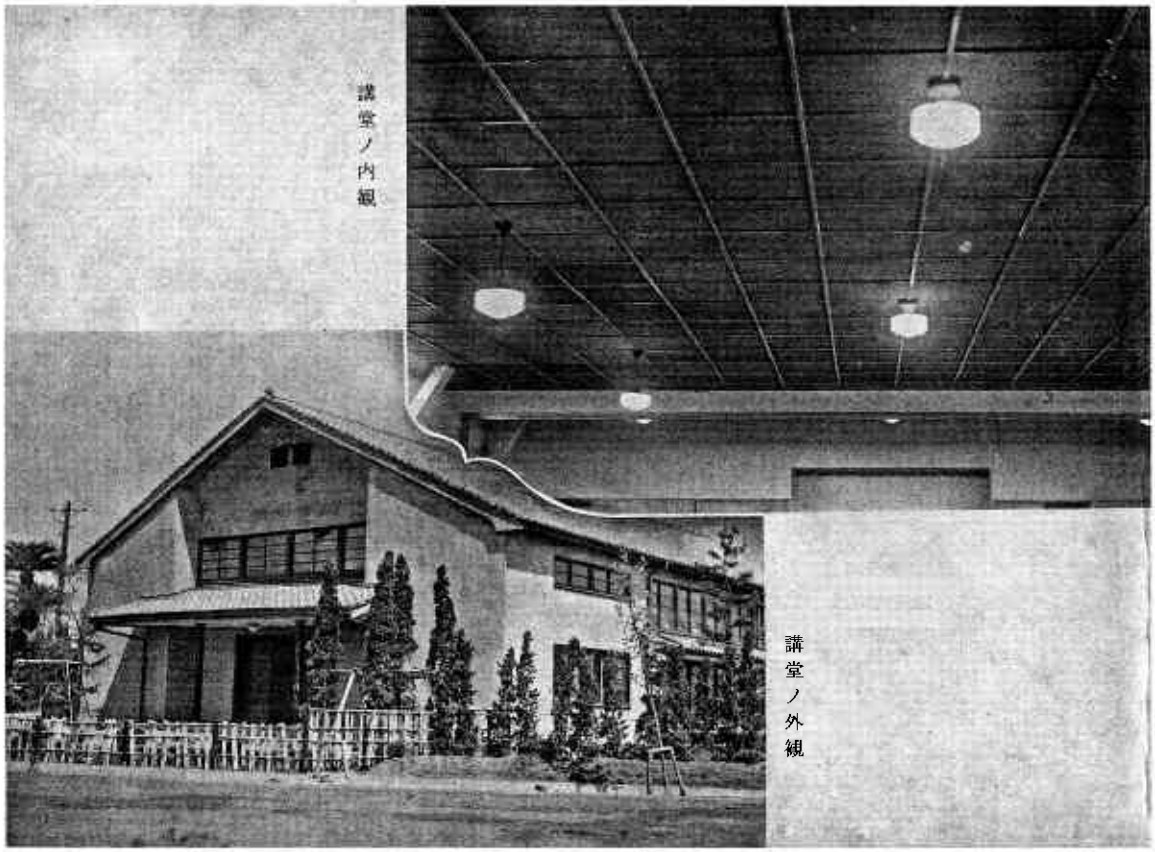
新港町郷土寫眞帖〈3～4〉



新港町郷土寫眞帖〈5～6〉

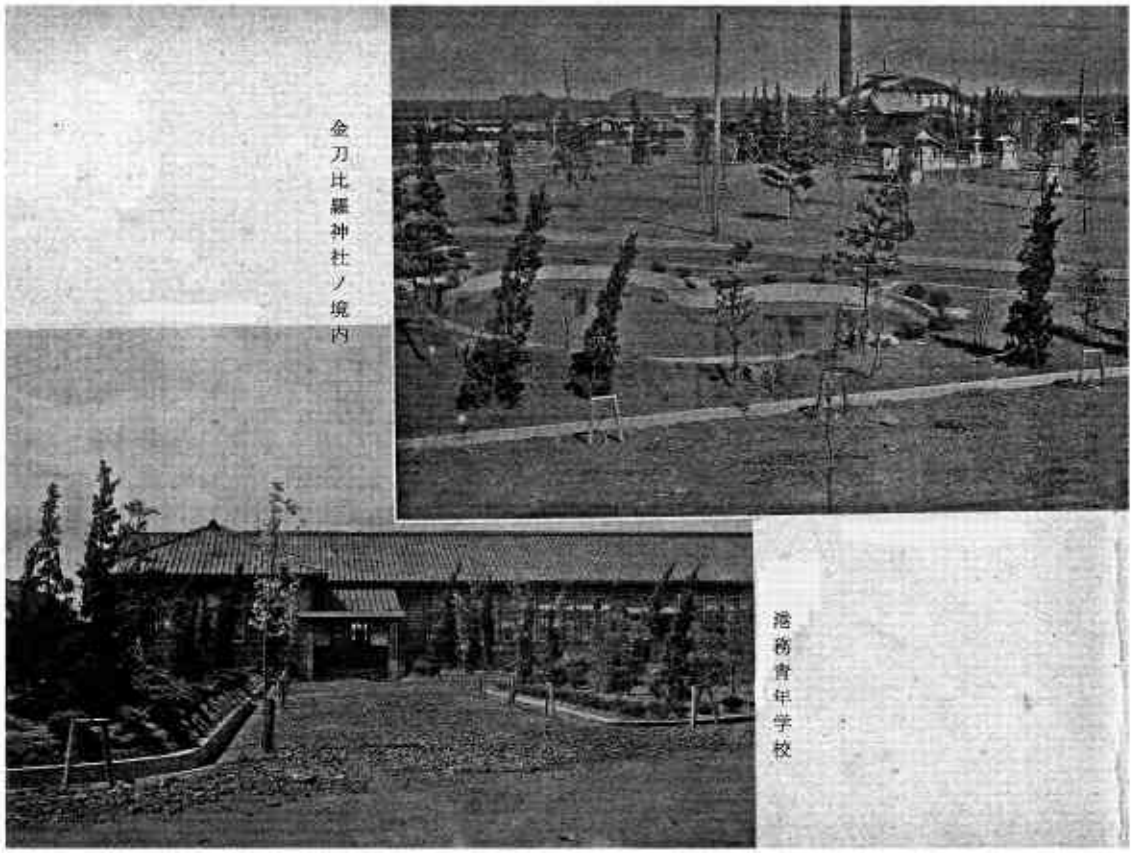


新港町郷土寫眞帖〈7～8〉



講堂ノ内観

講堂ノ外観



金刀比羅神社ノ境内

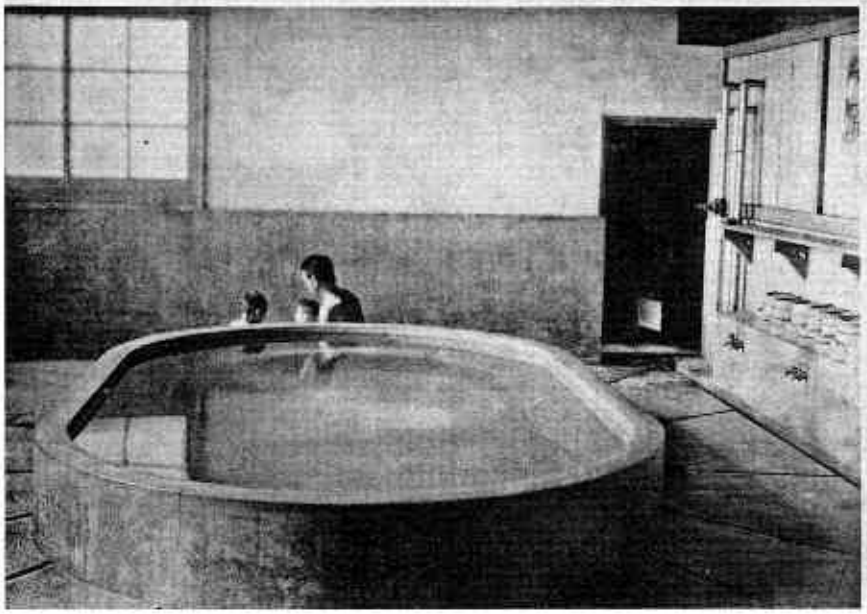
港務青年学校

新港町郷土寫眞帖〈9～10〉

新港町社宅倶楽部新設中

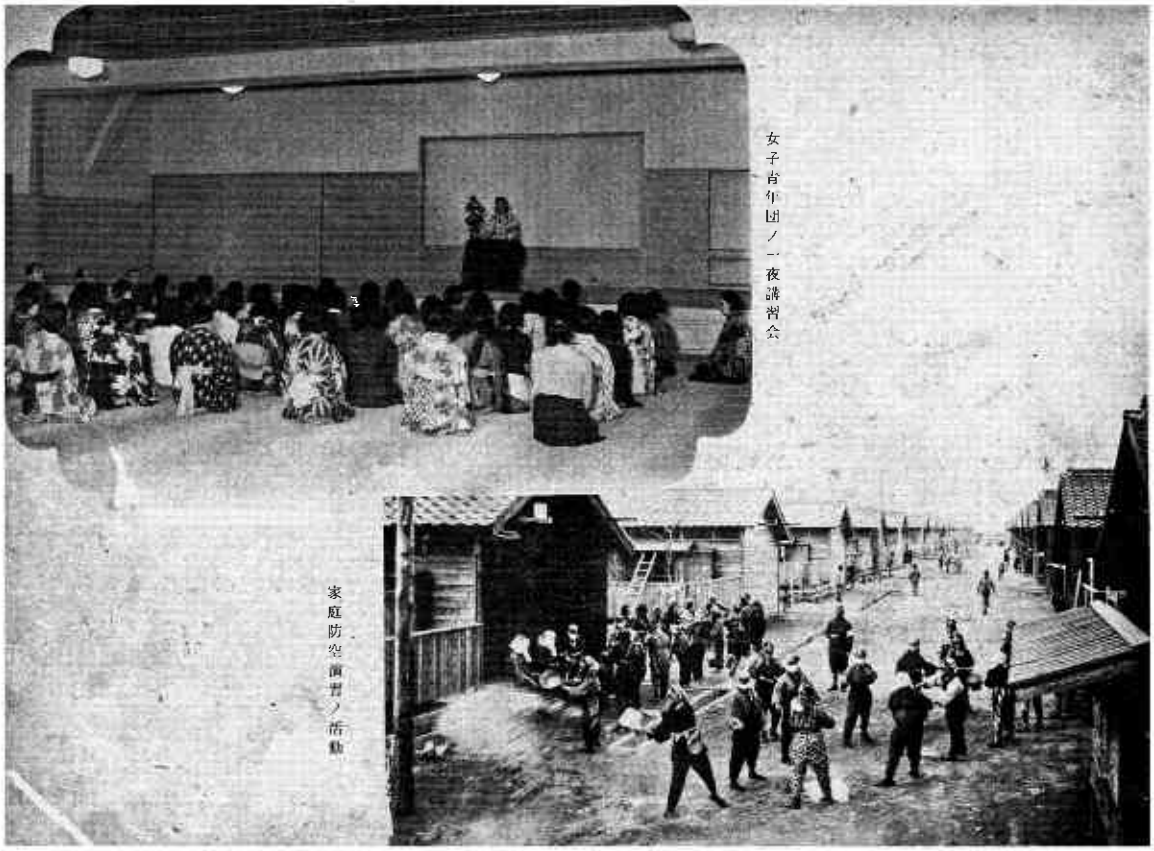
新港町社宅合宿所

浴室ノ内部



浴場

新港町郷土寫眞帖〈11～12〉

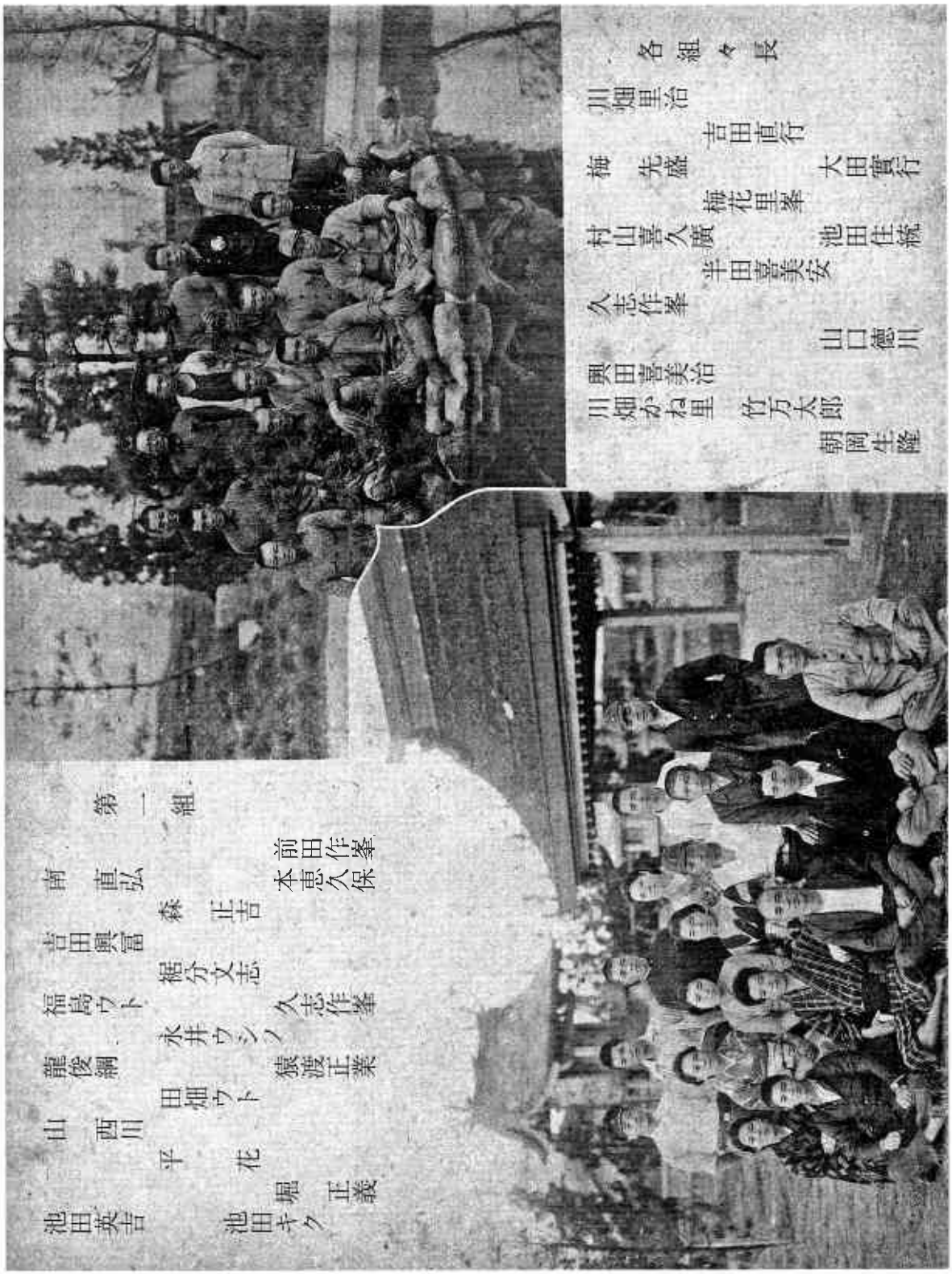


女子青年団ノ一夜講習会

家庭防空演習ノ活動

各組組長

新港町郷土写真帖〈13〉


第一組
南　直弘
吉田興富　森　正吉
福島ウト　裾分文志　前田作峯
永井ウシノ　久志作峯
龍俊綱　本恵久保
山　田畑ウト　猿渡正業
西川
平　花
池田英吉　池田キク　堀　正義
各組々長
川畑里治
吉田直行
梅　先盛　大田實行
梅花里峯
村山喜久廣　池田住藏
半田喜美安
久志作峯
山口德川
興田喜美治
川畑かね里　竹万太郎
朝岡生隆

新港町郷土写真帖〈14〉

第二組
池田佐江渡美
益山政澄
武井為元
角径弘
南秀雄
町上民
町ウト
吉田喜美信
山田ウト
吉田直行
益山オト
有元キヌエ
第三組
森常山
川畑金里
福納盛藏
牧山田清治
武支子
ウメ
酒竹
匂内
ハウ
ルシ
田中キク
永井美佐子
山吉茂三
西光龍玄
匂高盛俊政
澄先雄雄
杉盛悦
白石直富